

| | | | |
|-------|---------------------------|-----|-------------|
| 09011 | 99工房 バンパーパテ ホワイト&ナチュラル 主剤 | 作成日 | 2008年11月17日 |
| 第4版 | 株式会社 ソフト99コーポレーション | 改訂日 | 2009年9月29日 |

製品安全データシート(MSDS)

1. 製品及び会社情報

| | |
|--------------|---------------------------|
| 製品名 | 99工房 バンパーパテ ホワイト&ナチュラル 主剤 |
| 製品コード | 09011 |
| 会社名 | 株式会社 ソフト99コーポレーション |
| 住所 | 大阪市中央区谷町2-6-5 |
| 担当部門 | 研究開発部 |
| 電話番号 | 06-6942-6958 |
| 奨励用途及び使用上の制限 | 自動車バンパー用 |
| 作成日 | 2008年11月17日 |
| 改訂日 | 2009年9月29日 |
| 整理番号 | 09011 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|------------------|------|
| 皮膚腐食性／刺激性 | 区分 3 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分 2 |
| 皮膚感作性 | 区分 1 |
| 発がん性 | 区分 2 |
| 標的臓器毒性(単回暴露) | 区分 3 |
| 標的臓器毒性(反復暴露) | 区分 1 |
| 水生環境有害性(急性) | 区分 3 |
| 水生環境有害性(慢性) | 区分 3 |

※記載のないものは分類対象外または分類出来ない

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

軽度の皮膚刺激
 強い眼刺激
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 発がんのおそれの疑い
 呼吸器への刺激のおそれ、または、眠気やめまいのおそれ
 長期にわたる、または、反復暴露により臓器の障害
 水生生物に有害
 長期的影響により水生生物に有害

注意事項

[安全対策]
 使用前に取扱説明書入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 環境への放出を避けること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 保護眼鏡／保護面を着用すること。
 保護手袋を着用すること。
 指定された個人用保護具を使用すること。
 [救急処置]
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 取扱った後、手を洗うこと。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 [保管]
 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

| | | | |
|-------|---------------------------|-----|-------------|
| 09011 | 99工房 パンパーパテ ホワイト&ナチュラル 主剤 | 作成日 | 2008年11月17日 |
| 第4版 | 株式会社 ソフト99コーポレーション | 改訂日 | 2009年9月29日 |

[廃棄]

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
・混合物

| 成分名／ 化学名 | 含有量 (wt%) | 化審法※1 | 安衛法※4 | PRTR法No.※ 2 | CAS No. | 毒劇物 該当※3 |
|---------------------|--------------|--------|-------|----------------|------------|-------------|
| エポキシ樹脂 | 45～55 | 非公開 | 非該当 | 非該当 | 非公開 | 非該当 |
| ビスフェノールA型 エポキシ樹脂 | 1～5 | 7-1283 | 非該当 | 非該当 | 25068-38-6 | 非該当 |
| 酸化チタン | 15～25 | 1-558 | 191 | 非該当 | 13463-67-7 | 非該当 |
| シリカ | 1～5 | 1-548 | 312 | 非該当 | 67762-90-7 | 非該当 |
| タルク | 20～30 | 対象外 | 非該当 | 非該当 | 非公開 | 非該当 |

※1 化審法 官報公示整理番号(化審法)

※2 PRTR法報告物質 非該当 該当物質は含有しない

※3 毒物及び劇物取締法 非該当 該当物質は含有しない

※4 労働安全衛生法

表示物質：施行令第18条 名称等を表示すべき有害物質

通知物質：法第57条の2、施行令第18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物質

第2種有機溶剤・第3種有機溶剤：施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則

有機溶剤中毒予防規則 非該当 該当物質は含有しない。

4. 応急処置

大量に吸入した場合

- ・吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
- ・眠気やめまいの症状が出た場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態で休息させる。
- ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・吸入の影響が遅れて現れることがある。
- ・上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところをよく洗うこと。
- ・直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・皮膚刺激または手荒れや発疹・水泡などが生じた場合は、直ちに医師の診断を受けること。
- ・気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。
- ・汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

目に入った場合

- ・清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受ける事。

飲み込んだ場合

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・直ちに医師の診断を受けること。
- ・無理に吐かせないこと。
- ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

最も重要な兆候及び症状

・特になし

応急措置をする者の保護

・特になし

医師に対する特別注意事項

・特になし

5. 火災時の措置

消火剤

・水噴霧、粉末消火薬剤

・特になし。

火災時の特有の危険有害性

- ・燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法

- ・消火作業は、可能な限り風上から行なう。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

| | | | |
|-------|---------------------------|-----|-------------|
| 09011 | 99工房 パンパーパテ ホワイト&ナチュラル 主剤 | 作成日 | 2008年11月17日 |
| 第4版 | 株式会社 ソフト99コーポレーション | 改訂日 | 2009年9月29日 |

- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

- ・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
- ・消火活動は風上から行き、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
- ・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する
- ・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- ・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- ・大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

回収、中和

- ・回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
- ・少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用して、密閉できる空容器に回収する。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法

- ・漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7.取扱い上の注意

技術的対策

- ・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

適切な保管条件

- ・製品記載の保管条件を読み、適切に保管する事。
- ・容器を密栓する事
- ・施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

- ・特になし

8.暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- ・屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

| | 管理濃度 | 日本産業衛生学会 許容濃度 第2種粉じん | ACGIH (TLV-TWA) (TLV-STEL) |
|--------------|------|----------------------------|---|
| 酸化チタン シリカ | | 0.03mg/m ³ | 10mg/m ³ 0.025mg/m ³ |

※ 記載のないものは、知見なし、設定されていない

呼吸器の保護具

- ・保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

- ・保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用すること。

手の保護具

- ・必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。

目の保護具

- ・保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質 (原液)

| | |
|-----------|---------------------|
| 外観 | : 白色ペースト状 |
| 引火点 | : 260°C(クリーブランド開放式) |
| 比重 (20°C) | : 1.26~1.46 |
| その他のデータ | : 水に不溶、トルエン、MIBKに可溶 |

10.安定性及び反応性

| | |
|-------------|-------|
| 化学的安定性 | ・特になし |
| 危険有害反応性の可能性 | ・特になし |
| 避けるべき条件 | ・特になし |
| 混触危険性物質 | ・特になし |
| 危険有害な分解生成物 | ・特になし |
| その他 | ・特になし |

| | | | |
|-------|---------------------------|-----|-------------|
| 09011 | 99工房 パンパーパテ ホワイト&ナチュラル 主剤 | 作成日 | 2008年11月17日 |
| 第4版 | 株式会社 ソフト99コーポレーション | 改訂日 | 2009年9月29日 |

11. 有害性情報

製品全体としての有害性情報

記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

急性毒性

データなし

皮膚腐食性／刺激性

軽度の皮膚刺激（区分3）

目に対する重篤な損傷／刺激性

強い眼刺激（区分2）

呼吸器感受性又は皮膚感受性

吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ（区分1）

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

発がんのおそれの疑い（区分2）

生殖毒性

データなし

標的臓器／全身毒性（単回暴露）

呼吸器への刺激のおそれ、または、眠気やめまいのおそれ（区分3）

標的臓器／全身毒性（反復暴露）

長期にわたる、または、反復暴露により臓器の障害（区分1）

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報

製品全体としての有害性情報

記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

水生環境有害性（急性）

水生生物に有害（区分3）

水生環境有害性（慢性）

長期的影響により水生生物に有害（区分3）

13. 廃棄上の注意

・廃棄する際は、中身を使いきってから、地域のゴミ処理方法に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連分類 非該当

国連番号 非該当

国内規制 容器イエローラベル 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・容器の破損、漏れがないことをたしかめる。
- ・荷くずれ防止を確実にを行う。
- ・該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・直射日光を避ける。
- ・水漏れ厳禁。
- ・横積み厳禁。
- ・夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
- ・輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15. 適用法令

火薬類取締 対象外

高圧ガス保安法 対象外

消防法（ ）内は、指定数量 指定可燃物 可燃性固体（3,000kg）

毒物及び劇物取締法（毒劇物取締法） 非該当（該当物質は含有しない）

労働安全衛生法 通知対象物質を含有する。

労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則） 非該当 該当成分を含有しない。

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法（PRTR法）

非該当 該当物質は含有しない。

詳細は 3. 組成、成分情報参照

16. その他の情報

参考文献

化学物質等安全データシート(MSDS)-第1部:内容及び項目の順序 JIS Z7250:2005

GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）

中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

JACA(日本オートケミカル工業会)編集:化学物質管理データベース

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版（日本オートケミカル工業会）

危険物船舶運送及び貯蔵規則（海文堂）

| | | | |
|-------|---------------------------|-----|-------------|
| 09011 | 99工房 パンパーパテ ホワイト&ナチュラル 主剤 | 作成日 | 2008年11月17日 |
| 第4版 | 株式会社 ソフト99コーポレーション | 改訂日 | 2009年9月29日 |

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

| | | | |
|--------|----------------------------|-----|-------------|
| 09011A | 99工房 バンパーパテ ホワイト&ナチュラル 硬化剤 | 作成日 | 2008年11月17日 |
| 第2版 | 株式会社 ソフト99コーポレーション | 改訂日 | 2009年1月13日 |

製品安全データシート(MSDS)

1 製品及び会社情報

| | |
|--------------|----------------------------|
| 製品名 | 99工房 バンパーパテ ホワイト&ナチュラル 硬化剤 |
| 製品コード | 09011 |
| 会社名 | 株式会社 ソフト99コーポレーション |
| 住所 | 大阪市中央区谷町2-6-5 |
| 担当部門 | 研究開発部 |
| 電話番号 | 06-6942-6958 |
| 奨励用途及び使用上の制限 | 自動車バンパー用 |
| 作成日 | 2008年11月17日 |
| 改正日 | 2009年1月13日 |
| 整理番号 | 09011A |

2 危険有害性の要約

GHS分類
 GHS分類非該当
 ※記載のないものは分類対象外または分類出来ない
 GHS非該当物質

3 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
 ・混合物

| 成分名/ 化学名 | 含有量 (wt%) | CAS No. | 化審法※1 | PRTR法No.※ 2 | 毒劇物 該非※3 | 安衛法※4 |
|-------------|--------------|------------|-------|----------------|-------------|-------|
| ポリチオール | 50~60 | 非公開 | 非公開 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 三級アミン | 1~5 | 非公開 | 非公開 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 添加剤 | <1.0 | 非公開 | 非公開 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| タルク | 40~50 | 14807-96-6 | 対象外 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |

※1 化審法 官報公示整理番号(化審法)
 非該当

※2 PRTR法報告物質
 非該当 該当物質は含有しない

※3 毒物及び劇物取締法
 非該当 該当物質は含有しない

※4 労働安全衛生法
 表示物質： 施行令第18条 名称等を表示すべき有害物質
 通知物質： 法第57条の2、施行令第18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物質
 第2種有機溶剤・第3種有機溶剤： 施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則
 有機溶剤中毒予防規則
 非該当 該当物質は含有しない。

4 応急処置

大量に吸入した場合

- ・毒性はほとんどないが、気分が悪くなったりした場合は、下記のような処置を行う。
- ・吸入をして気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・毒性・刺激性はほとんどないが、液が付着した場合は、下記のような処置を行う。
- ・直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところをよく洗うこと。
- ・衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を石鹼でよく洗うこと。

目に入った場合

- ・清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受ける事。

最も重要な兆候及び症状

- ・特になし

応急措置をする者の保護

- ・特になし

医師に対する特別注意事項

- ・特になし

5.火災時の措置

消火剤

- ・初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

| | | | |
|--------|---------------------------------------|-----|-------------|
| 09011A | 99工房 パンパーパテ ホワイト&ナチュラル 硬化剤 | 作成日 | 2008年11月17日 |
| 第2版 | 株式会社 ソフト99コーポレーション | 改訂日 | 2009年1月13日 |

・大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

火災時の特有の危険有害性

・燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸い込まないように注意する。

特有の消火方法

- ・消火作業は、可能な限り風上から行なう。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

- ・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
- ・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
- ・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する
- ・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- ・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和

- ・回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法

- ・漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7.取扱い上の注意

取扱い

技術的対策

- ・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。

保管

適切な保管条件

- ・製品記載の保管条件を読み、適切に保管する事。

安全な容器包装材料

- ・特になし

8.暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

※ 記載の無いものは、知見なし、あるいはデータなし

| | 管理濃度 | 日本産業衛生学会 許容濃度 | ACGIH TWA |
|-----|----------|------------------|--------------------|
| タルク | 規定されていない | データなし | 2mg/m ³ |

保護具

呼吸器の保護具

- ・必要に応じて保護マスク等を着用する。

手の保護具

- ・必要に応じて保護手袋を着用する。

目の保護具

- ・必要に応じて保護眼鏡を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 黄色ペースト
- 引火点 : 149°C(クリーブランド開放式)
- 比重 : 1.40~1.60
- 分解温度 : 260°C以上に加熱すると徐々に分解しはじめる。

10.安定性及び反応性

化学的安定性

- ・エポキシ樹脂・酸、強酸化剤と反応する。

危険有害反応性の可能性

- ・特になし

| | | | |
|--------|----------------------------|-----|-------------|
| 09011A | 99工房 パンパーパテ ホワイト&ナチュラル 硬化剤 | 作成日 | 2008年11月17日 |
| 第2版 | 株式会社 ソフト99コーポレーション | 改訂日 | 2009年1月13日 |

避けるべき条件

・特になし

混触危険性物質

・特になし

危険有害な分解生成物

・特になし

その他

・特になし

11. 有害性情報

製品全体としての有害性情報

個々の成分の有害性情報: 記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

その他の情報

...

12. 環境影響情報

製品全体としての有害性情報

個々の成分の有害性情報: 記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

13. 廃棄上の注意

・適用される産業廃棄物処理基準及び法規に従う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類

非該当

国連番号

非該当

国内規制

容器イエローラベル

非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

・容器の破損、漏れがないことをたしかめる。

・荷くずれ防止を確実に行う。

・該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

・直射日光を避ける。

・水漏れ厳禁。

・横積み厳禁。

・夏場の輸送時には、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。

・輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15. 適用法令

火薬類取締法

対象外

高圧ガス保安法

対象外

消防法 ()内は、指定数量

指定可燃物 可燃性固体(3000kg)

毒物及び劇物取締法(毒劇物取締法)

詳細は 3. 組成、成分情報参照

非該当(該当物質は含有しない)

労働安全衛生法

表示・表示対象物質を含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法(有機溶剤中毒予防規則)

非該当 該当成分を含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法 (PRTR法)

非該当 該当物質は含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

16. その他の情報

参考文献

化学物質等安全データシート(MSDS)-第1部:内容及び項目の順序 JIS Z7250:2005

GHS分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

JACA(日本オートケミカル工業会)編集:化学物質管理データベース

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版 (日本オートケミカル工業会)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 (海文堂)

| | | | |
|--------|---------------------------------------|-----|-------------|
| 09011A | 99工房 パンパーパテ ホワイト&ナチュラル 硬化剤 | 作成日 | 2008年11月17日 |
| 第2版 | 株式会社 ソフト99コーポレーション | 改訂日 | 2009年1月13日 |

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。